「緊急放射線治療に関する全国調査」について

当科では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

＜研究の背景・意義＞

国内の多くの施設で脊髄圧迫や上大静脈症候群などの oncologic emergency に対しては時間内外を問わず緊急で放射線治療が行われ、症状緩和・QOL 改善に貢献しています。国内の緊急放射線治療についてのまとまった報告はなく、実態を十分に把握できていないのが現状です。緊急放射線治療を多くの機関で安心・安全に提供するためには実態の把握と課題の検討が必要と考えられ本研究が計画され当院も参加しています。

＜研究の目的＞

国内の緊急放射線治療の実態を把握し、データを作成します。さらにそのデータを基に全国のより多くの機関で安心・安全に緊急放射線治療を提供する体制を構築するための検討を行います。

＜対象となる患者さん＞

2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに当院で緊急放射線治療（紹介から 12 時間以内に初回治療を施行）を受けた患者さん

＜研究期間＞2023 年 3 月 31 日までを予定しています。

＜研究の方法・使用する項目など＞

年齢、性別、診断日、対応時間、受診後照射までの時間、照射法、線量、治療効果などを診療録より収集します。

＜個人情報の取り扱い＞

臨床情報は個人が特定できないよう加工したうえで、山梨大学へメールにて提供され、収集されたデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理が行われます。

国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報は厳重に保護されます。

＜研究成果の発表について＞

この研究成果は学会発表や論文発表する際には個人を特定できる情報は一切使用されま

せん。

＜データ提供による利益と不利益＞

本研究は診療録の情報を用いた観察研究のため、研究参加によって個人への不利益や危険性が新たに生じる可能性はありません。また、直接研究対象者の方には利益はありませんが、今後の医療の発展に寄与できる可能があります。

＜本研究の資金源（利益相反）＞

この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施します。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はありません。

＜研究代表者＞

山梨大学医学部放射線医学講座　教授　大西　洋

＜問い合わせ先＞

本研究についてわからないことや心配なことがありましたら遠慮なく担当医師にお尋ねください。

問い合わせ先
京都桂病院
〒615-8256　京都市西京区山田平尾町 17
電話：075-391-5811（代表）
責任医師：放射線科治療部　部長　坂本　隆吏